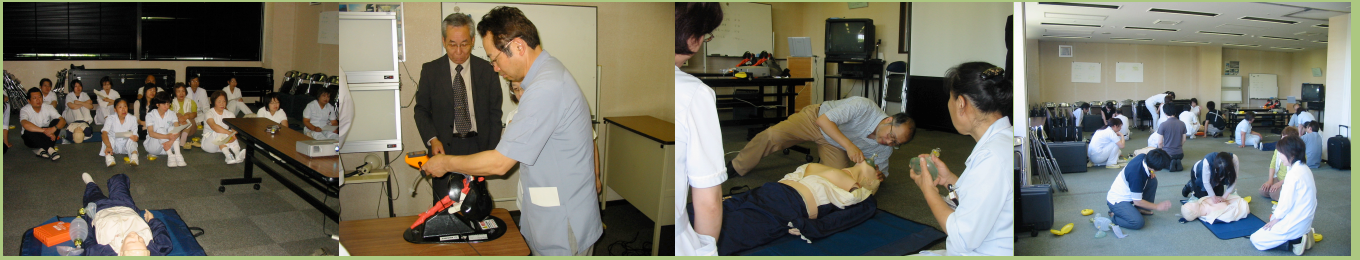


Kita Hospital Newsletter



北病院ニュースレター 平成19年10月20日 (第5号) 発行：ホームページ委員会

ACLS講習会が行われました

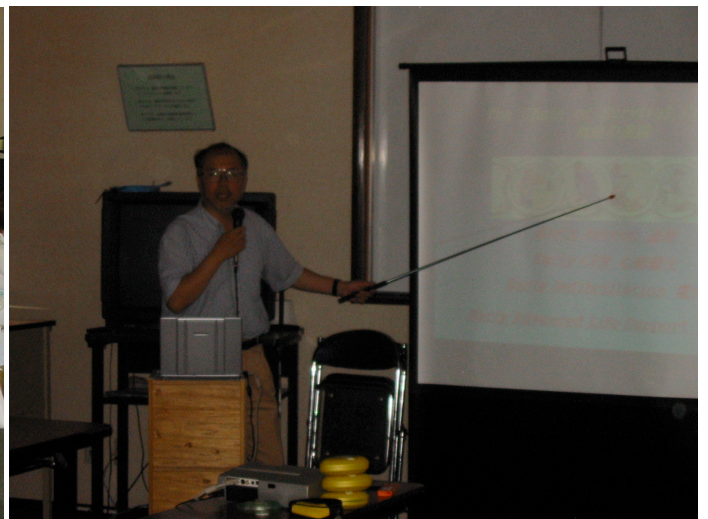
AEDのことを最近よく耳にします。AED（自動体外式除細動器）は、心臓が機能しなくなつて突然倒れたような人の心臓に電気刺激を与え心肺機能を回復させる機械のことですが、これを使うと少なからずの人命を救助することができます。最近になって、日本でも空港やホテルなど、多くの人が訪れる場所にAEDの設置がすすんでいます。

北病院にも平成19年度からAEDが導入されています。AEDの操作は比較的簡単で、緊急の場に居合わせた人なら、医学の専門知識がなくとも、救命に用いて良いことになっています。しかし、心肺の蘇生には、AEDの使用法をマスターするだけでは十分ではありません。

そこで、山梨県立中央病院の救命救急センター主任医長の松田医師を講師にお招きして、4月から6月にかけて、ACLS講習会が4回開催されました。この講習

会は、病院職員全員を対象として開催され、医師・看護師はもちろんのこと、薬剤師や医務課・業務課の事務職員も参加しました。

ACLSとは、Advanced Cardiovascular Life Supportの略であり、日本語に訳すと「二次救命処置」と言います。働きを失った循環器系や呼吸器系を様々な器具を用いつつ蘇生させる方法のことです。皆さんも車に乗られる方であれば簡単な救命処置を自動車教習所で教わったと思





います。ACLSではこういった救命処置に加えて、AED等の器具を用いるのです。

慣れない手つきも・・・

講習会当日は、人形を用い、人が倒れているという想定で訓練を行いました。まずは、呼びかけて意識があるかどうか確認、意識がないとわかれば人を呼び集め、AEDなどの器具の運搬を指示し、気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ、そしてAEDによる除細動を行います。

今回の講習会では多くの参加者がACLSの講習に初めて参加しました。慣れない手つきで手順を何度も確認しながら行い、頭だけでなく、体もフル回転させての講習会となりました。心臓マッサージは肘関節を伸ば

し、人形の体に対して垂直に手を当て1分間に100回のペースで押します。実際の医療の場では、これを数十分間、続けて行うことは珍しくありませんが、慣れていないものには大変ハードなものです。

自信を深め、決意新たに

今回の講習を終えて、心肺蘇生法の正しい手順を学ぶことができました。緊急の場というのはいつやってくるかわかりません。このため、いざというときに正しく行うことができるよう日頃からの研鑽が必要ということも認識しました。今後は各地で行われているACLSの講習会に自ら参加してみようと決意を新たにしました。

なお、この講習会開催にあたっては、松田先生をはじめ中央病院救命救急センターのスタッフの皆様には休日にもかかわらず北病院まで何回も足を運んでくださりご指導をいただきました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

松田先生、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。（文:市江亮一）

